

ヒートポンプ給湯機試験成績書

形名

SRT-HPK37W6	SRT-HPK37WD6
SRT-HPK46W6	SRT-HPK46WD6
SRT-HPK55W6	SRT-HPK46WDM6
	SRT-HPK55WD6

三菱電機株式会社 群馬製作所

試験項目	試験方法	試験結果												
1. 絶縁抵抗試験	通常の使用状態(タンクは満水の状態)において、DC500V 絶縁抵抗計により測定した電源回路とアース端子間の絶縁抵抗は、1MΩ 以上であること。	合格												
2. 絶縁耐力試験	通常の使用状態(タンクは満水の状態)において、電源回路とアース端子間に AC1500V を 1 分間印加したとき、耐えること。	合格												
3. 漏洩電流試験	通常の使用状態(タンクは満水の状態)において、機体の表面と大地間に 1kΩ の抵抗を接続して流れる電流は 1mA 以下であること。	合格												
4. 給水時間	据付工事説明書の施工要領において、タンクが満水になるまでの時間は 40 分以内であること。	合格												
5. 排水時間	排水栓を開いて、タンクの水が空になるまでの時間は 80 分以内であること。	合格												
6. タンク容量	水の比重を [1] として、台バカリにて測定したタンクの容量は規定値 ±2% 以内であること。	合格												
7. 水圧試験	タンクを満水の状態から昇圧ポンプにより水圧を上昇させ、390kPa を 5 分間保持したとき、漏水、変形のないこと。	合格												
8. 給湯量	据付工事説明書の施工要領において、給湯配管出口開放での流量は 15L / 分以上であること。	合格												
9. 保温性能試験	タンクを満水の状態から定格電圧を印加して自動温度調節器が動作した後、電源を開路し、そのまま 13 時間放置させ、タンク容量の 1/2 の量を採湯したときの湯温は、(沸上げ温度-13) 以上であること。	合格												
10. 使用性能試験	タンクを満水の状態から定格電圧を印加して自動温度調節器が動作した後、電源を開路し、その後 1 時間経過ごとにタンク容量の 1/13 ずつ採湯する。12 回目の採湯したときの湯温は、(沸上げ温度-30) 以上であること。	合格												
11. 平常温度試験	タンクを満水の状態から定格電圧を印加して沸上げを実施したとき、各部の温度上昇がほぼ一定となったときの到達温度は規定値以下であること。(周囲温度は 30℃ とする)	合格												
12. 消費電力試験	下記試験条件における消費電力は、定格の 105% 以内であること。 沸上げの設定温度は、中間期標準は 65℃、冬期高温は 90℃ とする。	合格												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験条件</th> <th>乾球温度</th> <th>湿球温度</th> <th>水温</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中間期標準消費電力</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>冬期高温消費電力</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>		試験条件	乾球温度	湿球温度	水温	中間期標準消費電力	16	12	17	冬期高温消費電力	7	6	9	
試験条件	乾球温度	湿球温度	水温											
中間期標準消費電力	16	12	17											
冬期高温消費電力	7	6	9											
13. 逃し弁動作圧力	逃し弁の一次圧力を徐々に上昇させ、逃し弁が吹き始める時の圧力は 190+3 / -7kPa 以内であること。	合格												
14. 湯張り湯温試験	据付工事説明書の施工要領において、ふろ自動で湯張り時の湯温は設定に対し ±3℃ 以内、また 1 回目と 2 回目の湯張り温度の差は ±2℃ 以内であること。	合格												
15. ふろ保温性能	据付工事説明書の施工要領において、ふろ保温動作後の湯温は、湯張り後の湯温に対し ±2℃ 以内であること。	合格												
16. 湯張り流量試験	据付工事説明書の施工要領において、単独湯張り時の流量は、浴槽 1 階: 12L / 分以上、浴槽 2 階: 10L / 分以上であること。	合格												